

器具器械 18 血圧検査又は脈波検査用器具
電子非観血血圧計

テルモ電子血圧計P302

* **【警告】**
<使用方法>
* 腕部に重度の血行障害のある場合は、慎重に適用すること。
[循環障害に伴う体調不良になる可能性がある。]
* 子供だけで使わせたり、自分で意思表示できない人に使用する場合は、慎重に適用すること。
[けがや事故がおきる可能性がある。]
* 透析治療中、又は抗凝固剤、抗血小板剤、ステロイド剤等を使用している場合は、慎重に適用すること。
[内出血をおこす可能性がある。]

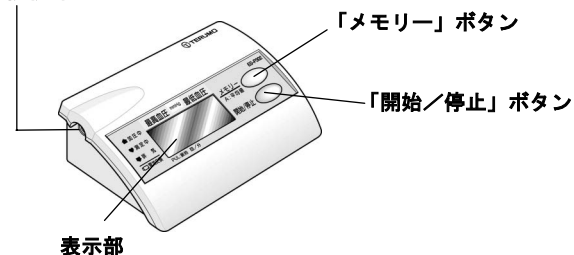
* **【禁忌・禁止】**
<適用対象(患者)>
* 本品腕帯内部のエアバッグ及びチューブには天然ゴムが使用されているので、過敏症の人は使用しないこと。
[かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどの症状を起こす可能性がある。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、適切な措置を施すこと。]
<使用方法>
* 測定結果の自己診断、治療は行わないこと。
[治療が必要な場合は、医師の診断のもとで行うことが必要である。]
* けがや治療中の腕では測定しないこと。
[症状が悪化する可能性がある。]
* 点滴静脈注射や輸血を行っている腕で測定しないこと。
[けがや事故がおきる可能性がある。]
* 引火性のある環境では使用しないこと。
[引火又は爆発の誘因となる可能性がある。]

【形状・構造等】

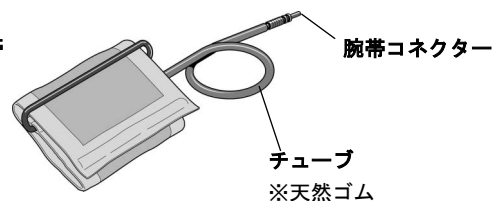
<構造図>

● **本体**

腕帯コネクタ
接続部



● **腕帯**



※腕帯

- ・測定可能な腕周囲 : 約23cm～32cm。
- ・単品販売もある。製品の同梱内容については箱に記載。

【電気的定格】

直流電源 (単3形アルカリ乾電池4本)
電 圧 : DC 6V
消費電力 : 4W

【機器の分類】

電撃保護 内部電源機器 B F 形

【性能、使用目的、効能又は効果】

<使用目的>

人体の上腕における血圧の非観血測定を行うことを目的とする。

【仕様】

測定方式 : オシロメトリック法
測定範囲 : 圧力 0～300mmHg
脈拍数 40～160回/分
精 度 : 圧力 ±4mmHg 脈拍 ±5%
加圧方式 : 内蔵ポンプ
減圧方式 : 電子制御排気弁

取扱説明書(ご利用の手引き)を必ずご参照ください。

表示方法：LCDデジタル

圧力変換及び脈波検出方法

：静電容量型交換器による周波数への変換

使用環境：温度 10～40℃ 相対湿度 30～85%RH

(但し、結露なきこと)

付加機能：オートパワーOFF機能、7回メモリー機能、
平均値表示

安全装置：1) 電池容量が不足すると電池交換サインを表示し
測定を停止する。

2) 腕帯圧力が330mmHg以上加圧されると、表示
器に“Err 330”を点灯表示し、使用者に
警告を発すると共に電子制御排気弁により排気
が行われる。

*【操作方法又は使用方法等（用法・用量を含む）】

【電池の入れ方】

1. 本体裏の電池カバーをはずす。
2. 乾電池をプラス、マイナス表示に合わせて入れる。
3. 電池カバーを本体にしっかりとめはめる。

【測定方法】

1. 腕帯コネクタを本体のコネクタ接続部に接続する。
2. 上腕部に腕帯を巻き、正しい姿勢（腕帯と心臓の高さが同じになる姿勢）にする。
3. 「開始/停止」ボタンを押して電源を入れる（表示部の点検が終了後、自動的に加圧、減圧が行われる）。
4. 測定を途中で中止したいときは、「開始/停止」ボタンを押す。
5. 測定終了後、交互に表示される最高、最低血圧と脈拍数を読み取る。
6. 測定値を記録する。
7. 「開始/停止」ボタンを押して電源を切る。
8. 連続して測定する場合は、あらかじめ3.以降の操作を行う。
9. 補足説明
 - (1) 手動で加圧する場合は、3.の操作を次のように行う。
「開始/停止」ボタンを押して電源を入れ、加圧がはじまってから、「開始/停止」ボタンをもう一度押しつづける。
 - (2) 予想される最高血圧値より50mmHg程度高くなったら指を離す。

【記憶されている測定値の平均値及び各測定値の表示方法】

1. 「メモリー」ボタンを押す。
「メモリー」ボタンを押すごとに測定値をさかのぼって表示し、右下に何回前の測定値であるかを表す数字（例：2回前であれば「2」）が点灯。最大7回分の測定値を表示。
2. 記憶された回数より1回多く押すと、平均値を表示し、右下に平均値を表す「A」が点灯。

<使用方法に関連する使用上の注意>

- * 取扱説明書（ご利用の手引き）に従い、正しい位置に腕帯を装着すること。〔測定精度が保証できない。〕
- * 寒い部屋では測定しないこと。〔血圧が高くなる可能性がある。〕
- * 騒音や振動がある場所で測定しないこと。〔測定精度が保証できない。〕
- * 測定中は血圧計や、載せているテーブルなどをたたかないこと。〔測定精度が保証できない。〕
- * いつも同じ腕で、手のひらを上に向けて測定すること。〔右腕と左腕では測定値に差が出る可能性がある。〕

- * 安静な状態で測定すること。〔測定値が変化することがある。〕
- * 測定中に腕や手首、体を動かさないこと。〔エラーが表示されたり、再加圧することがある。〕
- * 腹部を圧迫した姿勢や、ひじを浮かせたり、ひじを極端に曲げた姿勢で測定しないこと。〔測定値が変化することがある。〕
- * まくり上げたシャツやセーターなどで上腕を圧迫しないようにすること。〔測定値に誤差を生じたり、測定できない。〕
- ・連続測定によりうっ血した場合は、うっ血を取り除いてから測定すること。〔測定値が変化することがある。〕
- ・手動加圧の場合、加圧を必要以上に高くしないこと。〔腕に一過性の内出血が発生することがある。〕
- * チューブ及び腕帯を、はさみなど鋭利なもので傷つけないこと。〔測定値に誤差が生じたり、測定できない。〕
- * 腕帯コネクタを外すときは、コネクタを持ってまっすぐに引き抜くこと。〔コネクタを左右に振りながら引き抜くと、破損の原因となる。〕
- ・メモリー機能で記憶されている測定値を残しておきたい場合は、電池交換の前に測定値を記録すること。〔電池を取り外し、「開始/停止」ボタンを押すと、メモリーに記憶された過去の測定値はすべて消去されるため。〕

*【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- * 使用の前に、外観に破損などが無いことを確認し、異常が認められた場合、使用しないこと。〔測定値の異常や、けがの可能性が有る。〕
- * 添付文書及び取扱説明書（ご利用の手引き）を確認の上、使用すること。
- * 本品には専用の腕帯を使用すること。
- * 測定部位の血流が少ない場合や、不整脈の頻度の高い場合は、慎重に適用すること。〔測定できない可能性がある。〕
- * 本品に床への落下などによる衝撃が加えられた場合は、使用しないこと。〔本品の外観に異常が認められない場合でも、内部が破損している可能性がある。〕
- * 本品に異物や液体が入らないように注意すること。もし入り込んだ場合、そのままの状態で使用しないこと。〔故障の原因となる。〕
- * 本品は気密構造ではないので、活性ガス（消毒用ガスも含む）環境や多湿環境などで使用、放置しないこと。〔装置内部の電子部品に影響を与え、劣化や損傷により、故障の原因となる。〕
- * 強い静電気や電磁波に近づけたり、近くで携帯電話を使用しないこと。〔誤作動、故障の原因となる。〕
- * 分解、修理、改造は行わないこと。〔故障の原因となる。〕
- * 腕帯を叩いたり、チューブをひっぱったりしないこと。〔測定値の異常や、故障の原因となる。〕
- ・腕帯に布などを縫い付けられないこと。〔故障の原因となる。〕
- * 電池の交換は、指定の同じ種類の新品の乾電池を全て同時に行うこと。〔古い電池を混ぜて使用すると電池が発熱し、故障の原因となる。〕
- * 電池の交換はプラス、マイナスの向きを本品の表示に合わせて、マイナス側から入れること。〔電池の向きを間違えたり、マイナス側の電極パネを無理に曲げて入れると、乾電池が発熱し、故障の原因となる。〕

【作動・動作原理】

腕帯の振動脈波圧力を静電容量型圧力センサーなどで構成された電気回路にて周波数に変換し、オシロメトリック方式に基づき、最高血圧及び最低血圧を測定して表示する。また、腕帯の振動脈波圧力の出現間隔を測定し、脈拍数を算出して表示する。

*【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

<貯蔵・保管方法>

- * 水ぬれに注意し、日光及び高温多湿を避けて保管すること。
保管条件:周囲温度 -20℃～60℃ 相対湿度 10%～95%RH
(但し、結露なきこと)

[保管上の注意]

- * 本品は日光や紫外線などの強い光があたる場所に保管したり、長時間放置しないこと。[外装の変色や劣化が発生することがある。]
- * 振動、塵埃、腐食性ガス等の多い場所に保管しないこと。
- * 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生じるおそれのある場所に保管しないこと。
- * 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。
- * 腕帯を無理に折り曲げ、小さくたたんだり、チューブを強く折り曲げた状態で保管しないこと。[変形や空気漏れ、エラーが起こることがある。]
- * 長時間使用しない場合、電池を外しておくこと。[電池が液漏れし、故障の原因となる。]

<有効期間・使用の期限>

- * 標準的な使用期間の目安：4.5年 [自己認証による]

*【保守・点検に係る事項】

[保守・点検上の注意]

- * しばらく使用しなかったときは、使用前に必ず作動（電源が入る、加圧するなど）を確認してから使用すること。
- * 本体、腕帯、チューブをアルコール、シンナー、ベンジン等の有機溶剤、ポビドンヨードでは拭かないこと。[本品の破損や変色、故障の原因となる。]
 - ・本体、腕帯を水洗いしないこと。[故障の原因となる。]
- * 本体の汚れがひどい場合は、水又はぬるま湯を浸して、よくしぼったガーゼなどで速やかに拭き取ること。
- * ドライヤーなどを使用して乾燥させないこと。[故障の原因となる。]

【包装】

- ・ 1台/箱

【製造業者又は輸入販売業者の氏名又は名称及び住所等】

輸入販売業者：日本精密測器株式会社
住 所：群馬県北群馬郡持村中郷2508-13
電 話 番 号：0279-20-2311

輸 入 先：PT. NSS INDONESIA
国 名：インドネシア共和国

発 売 元：テルモ株式会社
住 所：東京都渋谷区幡ヶ谷2丁目4番1号
電 話 番 号：0120-00-8178 (テルモ・コールセンター)

